

協働通信

11月12日、都留市まちづくり交流センターにおいて、地域協働のまちづくり推進会連絡会の主催により、地域のまちづくりへの都留文科大教員や学生の関わりづくりをテーマに意見交換が行われました。

都留市には、市のシンボルともなる公立天学法人都留文科大に、約3千人の学生が通っています。市の人口の約11人に1人が都留文科大生であり、市民と学生が集う、学園のまちとして、学校教育や生涯学習などにおいて、知的資源を最大限に活用したまちづくりが進められています。



▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター(旧文化会館)1階
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX (43)1322
※4月1日から移転しました。

さらに今年4月には、まちづくり交流センター内に、大学と地域をつなぐ「地域交流研究センター」分室が設置され、大学教員・学生と地域住民の交流を促進し、まちづくりを支援する体制が拡充されました。



これまで、各地域の協働のまちづくり推進会においても、様々な場面で大学生との交流がありますが、今後さらに交流を広げていくためには、どのようなことがあげられるかについて意見が交わされました。

当日は、7地域の協働のまちづくり推進会から12名、大学からは、地域交流研究センター長の杉本光司先生、情報センター講師の日向良和先生、また、都留文科大生でつる子どもまつり実行委員会「の飯田さん・笠原さん」が参加しました。

開地のお祭りなどで、文大生と交流のある宮澤さんは「大学生は、このまちの財産だと思えます。全国から来ている学生さんたちにこのまちを知って欲しいと思います。」と話され、東桂の三枝さんは「大学生に文化祭などに出ていただいて、お年寄りは本当に喜んでいきます。子どもたちも学生さんが来ると、抱き付けて喜びます。」と話されました。

また、学生の笠原さんからは「都留は、身近なところで市民とつながる機会があると感じています。」飯田さんからは「私は地域に関わることが好きです。他の学生も、地域の人とつながりたいと考えている人は多いと思います。」と話されました。

日向先生は「1度参加すると、2度3度と参加していく学生が多い。学生たちが地域に関わっていくことをサポートできればと考えています。」杉本先生からは「以前、地域の河川清掃に15名の学生がお手伝いさせていただいたのですが、嫌がるのでなく、地域の方に声を掛けていただいたりしてとても楽しかったと話していました。地域との交流は、教育の観点からもよい経験になりますし、私たちがお手伝いできればと考えています。」と話されました。谷村の岩間さんからは、「ふるさと発見で、お寺の鐘の音の聴き比べがあったが、大学教員の方とも一緒にできれば科学的な調査もできそうです。」と話されました。

この他にも様々な意見が交わされましたが、吉澤連絡会会長は「まちづくりは、当たり前のように自分たちの地域をあらためて見直すことが大切だと思う。全国から来ている学生さんの目線からも地域を知り、まちづくりに生かしていければと思う。盛里の谷内さんからは「今日は、参考になりました。大きなことでなく、はじめは些細な関わりからでもよいと感じることができました。」と今後に期待感を持たれていました。



地域のお知らせ

盛里地域

救命講習

この機会にAEDを使ってみましょう。

日時 12月8日(日)10時～12時

場所 旭小学校体育館

東桂地域

健康クラス会

健康講話、クリスマスお楽しみ抽選会などを行います。

日時 12月10日(火)10時30分～

受付10時

場所 東桂地域コミュニティセンター

谷村地域

夢実現ひろば

今回は、松竹梅の生け花を習います。

(お花代がかかります。)

日時 12月19日(木)

13時30分～15時30分

場所 まちづくり交流センター

会議室1

問合せ ☎(43)2663(吉田)